

令和6年度飯山市美術館運営協議会（第2回）会議録

開催日時 令和7年（2025年）2月20日（木） 15:30～17:00

開催会場 飯山市公民館101会議室

参集者 （敬称略）委員：廣靖彦 飯塚みずき 吉越隆師 篠原敦子 明石洋一
欠席：阿部拓也 前島憲一郎 千坂経悦 佐藤環
教育委員会：山田晃（教育長） 田中良則（文化振興部長）
井端伸介（美術館長(兼)美術館係長） 木村直子（美術館職員）

1 開 会

2 あいさつ

会 長： 私も80才を超えましたので、このようなところで色々お世話させていただくことはもうないと思っています。かつて大阪の高校の美術の教師だったのですが、3、4年前から栄村の中学校に週に1回だけ行かせてもらっています。生徒は良いし、能力があるし、本当に楽しいです。今年で引退させてもらうのですが、自然は良いし、人は良いし、教育に良い環境だなと感じておりました。

私の家は羽広ですので雪は今も4メートルをはるかに超えています。1階は雪を構わなければ埋まってしまうので大変ですが、これも考えようで、もし雪かきをしなければ家の中で飲んだり食べてばかりかも知れません。朝起きたらまずガレージの前から雪かきをしています。もう中学校の方も引退させてもらおうと思っています。出来たら次は若い方に活躍していただけたらと思います。何もできませんでしたが、一応なんとかやらせていただきました。

教育長： 今、会長さんから栄中学校のお話がありましたが、実は私が栄中の校長の時に会長さんに是非美術の先生をとお願いし、本当に無理を言って来ていただきました。今も生徒のことを褒めていただき嬉しいです。出来ればずっとご指導いただいたり、こちらの会にも関わっていただければと個人的には思っています。

この美術館の事業の関係ですが、今年度は松蔭寺と細川家の秘宝、猪瀬清四朗さん、長谷川青澄さん等、飯山市にゆかりのある作家さん、また、県立美術館の移動展を開催させていただきました。嬉しかったのは、城南・城北中学校や飯山高校の生徒の皆さんが企画展に合わせて見学に来てくれたことです。やはり子どもたちの感性はすごく柔らかいので、子どもたちがそういう機会を得たということがとても良かったと思います。

本日は、今触れました6年度の事業の報告、また7年度の事業計画等について検討していただき、美術館が市民の皆さんにとって、より身近なものとなりますようご意見いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

3 協議事項 ※委員からの主な質問、意見および事務局の回答等

（1）令和6年度事業報告について

会 長： 令和6年度事業報告についてお願いします。

事務局： 資料のとおり説明

会 長： 大阪で展覧会開催に関わったことがあります。本当に色々な企画を大変な中やっただけだと思っています。6年度の報告をしていただいた中でこれは面白かったとか、これはちょっとどうかなどご感想ありましたらお願いしたいと思っています。ご意見でも結構ですが何かありますでしょうか。

委 員： 委員になって初めて企画展の開会式に参加させていただきましたが、会場で館長さんに一つ一つ作品の説明をしていただいて良かったと感じています。1人で見てもなかなかわからないことも説明してもらえるので、自分としては2年間すごく勉強になったと思っています。

委 員： 今年度この会議に参加させていただいたり、猪瀬さんの彫刻展を拝見させていただきました。私も初めて拝見させていただき勉強になったことがたくさんありました。

城北中の1年生も美術の授業で市バスを活用して見学してもらいましたが、その時の企画展が裸婦の彫刻作品が多くて子どもたちがいきなり見ることになるのですが、何も知らないで鑑賞するのとちょっと勉強してから行くのでは全然違うだろうと思い、授業で彫刻作品の勉強をしてから鑑賞に来させてもらいました。今、そういう意識というか興味を持ったうえで見ると1年生の美術で皆どんな感想を持つのか、見た時にどんな感じになるのか、ちょっとドキドキしながらだったのですが、子どもたちはすごくいい感想とか気づきとかを最後のまとめにたくさん書いてくれました。一緒に行くことができて本当に良かったと思いました。

次年度の企画展として冬耳展があると伺いました。抽象画というテーマで何か出来たらと思い、冬耳さんに中学校に来ていただいてお話させていただきました。美術部と冬耳さんのコラボとか冬耳さんを講師とした授業ができないか聞いたところ、冬耳さんもそういうことをやってみたかったとおっしゃっていただきました。まだ実現していませんが、生徒とアーティストと一緒に作品を創るようなことがあれば、お家の方とかも今度の休みの日に一緒に美術館に行く、家族みんなで来館することになれば来館者数が増えるのではと思いました。こんなことができたらいいなと思っているのですが、きっかけを発信していけば、他の学校でも来館してくれるのではないかと思います。

会 長： 私も大阪で教師をしていたとき、例えば、美術館に来てその展覧会が自分としては面白くなかったとかわからなくても、それでも1回美術館みたいところに足を運んで自分なりの感想を持つのと、初めから美術館に行きたくないというのは違うと思います。先生がおっしゃったみたいに学校で1回そういうきっかけをつくってあげるというのはとても大事なことでと思います。

委 員： お疲れ様です。美術館は伝統産業会館と併設していますが、伝統産業会館という施設は全国47都道府県の中で24県にしかないのです。石川県の金沢に3つ、滋賀県に2つある以外は全て1館しかなく、飯山の伝統産業会館という名称の施設というのは非常に貴重な施設なのです。この施設は美術館の魅力もありますし、当然、伝統産業会館としての機能も備えていますので、その辺を今一度考えなきゃいけない時期ではないかと正直感じています。

伝統産業会館のメインというか、東京の青山に伝統産業スクエアという全国の伝統産業を展示している施設があり、そこを中心として振興協議会や県の協議会もありまして、たまたま私、県の振興協議会の副会長をしております。県の次期協議会長に就任させてもらう中で、展示も当然大事なのですが、やはり体験型の施設はどこに行っても相当集客力があって喜ばれていると聞いています。実は先週1週間、東京青山で全国の伝統工芸品の仏壇の展示がありました。1週間展示させてもらいましたが、正直、仏壇に誰も興味がなく素通りしていました。

そういう部分と館長に常設展示はじめ、これだけ年間やられている中で伝統産業会館は大変申し訳ないですけど行事はほぼ無く、何もしてないです。私が理事長になってまだ2期目ですが、この20年ぐらいの間はほぼ今の状態のままです。運営委員会の一人として出させていただいている以上は、何か提案するなりもう少し頑張らなければいけないと感じています。7年度の計画に出てきますが、5年度と4年度に開催した北信濃の伝統産業の職人さんを集めた展示会の予定がまだ決まっていますが、喜ばれている伝統工芸は存在するので、そういったところと美術館を融合させてと思います。大きなイベントは予算がかかるので、なかなか厳しいところはあると思いますが、出来るだけお金をかけないように考えて、また協力をさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

あと一点だけお願いします。6年度の県立美術館の移動展は県の方針により入館無料ということでしたが、県から特に補助的なお金は出ていないのですか。

事務局： 補助はないですが、移動展を開催するための作品の運搬料とかそういった開催するための経費は全て県が負担しているということです。無料にするようになったのは、令和3年からと聞いています。それまではいくらかの入館料を徴収していたようですが、より多くの人にご覧いただきたいという理由から無料にすることになったとのこと。

委員： 分かりました。

会長： どんな方面からでも結構です。もう少しご意見など出していただけたらと思いますが、いかがでしょうか？

委員： 私は美術部担当させていただいていますが、美術館や公民館で伝統工芸の体験を1回でもあるといいと思いますし、1ヶ月に3～4回、実際に職人の方に教えていただきながら、学校という枠の中だけではなく、そういうことについて勉強していけるとそこから興味を持って将来仕事にするなどということに繋がるのではと、今お話を聞いて感じました。

会長： 美術とか工芸に関わるようなことっていうのは経験しないで頭の中で考えているだけではあまり進みません。例えば、スプーン1つ作ってみて上手く出来たら、それをずっと大事に持っているということもあるかも知れない。組合とかが積極的にきっかけを作っただけで、学校として体験したりあるいは何かコンクールみたいなイベントがあったりすると良いかもしれない。

教育長： 伝統工芸でいうと先ほどお話しされた飯山仏壇もそうですし、あと内山紙ですね。内山紙については小学生が卒業証書で必要なので和紙づくりの体験をしております。

また、小沼ぼうきについては公民館で体験もしております。飯山仏壇関係で言ったら駅にもそういう工芸品や体験とか、お皿とか色々絵付けされた帳面など色々あると思います。

校長会で退職したり異動されたりする先生に、校長会として記念品を渡すことがあって、私が担当したときに飯山の伝統工芸品を送ろうということで、最近は、お皿とかを選んでもらってお渡してきているのですが、非常に好評です。県内の違うところから来ている校長先生に持っていったら、こんないい工芸品があると知っていただき、興味を持ってもらえらばと思っています。

事務局： 次の協議に移るための伝達

(2) 令和7年度事業計画(案)について

事務局： 資料のとおり説明

委員： 特になし

(3) 令和8年度以降の企画展等の予定について

事務局： 資料のとおり説明

委員： 特になし

(4) その他 特になし

4 その他

(1) 美術館運営協議会の任期について

事務局： 資料のとおり説明

(2) その他

委員から意見等は特になし

5 閉 会